



育成能力

語学分野では、英語および第二外国語の習得を通じて、グローバル人材として必要とされる語学力を養成する。

情報科学分野では、情報通信技術を利用した情報収集、処理能力を養成する。

基礎科目群は環境への課題意識を深めつつ、社会学、環境学の両分野を、文系・理系の枠組みを超えた統合的視点に立ちながら、幅広く学び、「持続可能な社会」形成についての基礎知識を修得し、専門科目につながる基礎知識を習得する。

社会学分野では人間ととりまく社会のありかたやその現象、構造の基礎を学ぶ。

環境学分野では人間ととりまく環境について、その基礎を学ぶ。

専門科目群は自然との共生・緑の保護など、主に自然環境の視点から環境専門家に必要な知識・技術を習得する。

「緑と自然」コアでは、都市の緑の保全と創出、並びに里地里山の保全等の環境保全と地域の関わりについて専門的かつ実践的に学ぶ。

「農業と食」コアでは、これからの農業のあり方や新たな価値創造、安全・安心な食の供給について専門的かつ実践的に学ぶ。

「園芸と健康」コアでは、植物による癒しの効果や良好な生活環境の創出について専門的かつ実践的に学ぶ。

キャリア系演習では、文章力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力など社会人として要求されるスキルとともに就業意識を高めて、社会人基礎力を養成する。

プロジェクト系演習では事例調査や研究活動等の実践的かつ能動的な学習活動を通じて、専門知識の深化と課題発見、問題解決能力等の実践的能力を養成する。

専門関連科目群では、基礎科目群、専門科目群を通じて学んだ環境と社会に関する知識を、現実社会において適用、実施するための方法論を学ぶ。

Global College科目群では、世界で通用するグローバル人材となるために、幅広い教養と環境に関する専門を、英語により(オール英語プログラム)学ぶ。

特設科目群では、本学科の専門分野の知見を深めた上で、さらにグローバル化社会を担う人材となるために、語学実践力を養成する。

Global College科目群

特設科目群

「Language Study Abroad」分野

「Globalization and Multicultural Society」分野

「Projects at Overseas」分野

「Japanese Language and Culture」分野

合計必要単位数 124

環境社会学部 履修系統図 2015年度入学生

凡例

- 授業グループ名
- 必修科目
- 基礎→応用の関係
- 選択科目
- 並列の関係
- 履修の授業科目(学生履修参照)
- 授業グループ全体と関係
- 選択科目